

先生各位

## 検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査精度向上のため、検査内容の変更をさせていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 本案内以降変更となります。

■変更項目および変更内容

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
106~ 111		出血凝固検査	備考 (欄外記載 注1及び注2)	遠心分離条件部分の変更		※1
				よく混和し、遠心機の温度設定を18℃~25℃とし、遠心力と遠心時間は1,500×gで15分以上または2,000×gで10分以上遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。	混和後直ちに3000rpm10分間遠心分離して、血漿分離後凍結してください。	

■変更項目および変更内容

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
106	3052 2B030	プロトロンビン時間(PT)	保存 (全血)	室温	冷蔵	※1
	3053 2B020	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)				
	3055 2B100	フィブリノーゲン				
	3056 2B120	FDP(フィブリン・フィブリノーゲン分解産物)				
	3079 2B140	Dダイマー				
108	3074 2B200	アンチトロンビンⅢ(AT-Ⅲ)活性				

※血漿分注後の保存(凍結)は変更ありません。

※1 参考:「日本検査血液学会標準化委員会凝固検査標準化ワーキンググループ 凝固検査検体取扱いに関するコンセンサス 17, 149-168, 2016.」

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。